

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。今定例会では、17人が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しております。なお、各ページに掲載しているQRコードから、各議員の一般質問の録画配信映像をご覧ください。

また、議会では、感染症対策として、これまでもさまざまな対策を実施してきたところですが、この度、質問席などに飛沫防止用のアクリル板を設置し、感染症対策の徹底を図っています。



一般質問

ここが
ききたい



さとうたかのぶ
佐藤太信 議員

議員 ①指定管理者制度を導入後、**公園運営の見直しは**

環境経済部長 ⑤商工会と連携し、店舗のバリアフリー対応状況の把握に努める。助成制度は検討する。

教育部長 ④今後も福祉部と連携し、校長会に働きかける。

都市整備部長 ①法改正があり積極的に進めて行く②J.R東日本の協力を得ながら、前向きに検討する③令和3年度に策定するバリアフリー基本構想の中で検討。

バリアフリー

Q 戸田駅西口に屋根の設置を
A 前向きに検討する

議員 ①バリアフリー基本構想を進める経緯は②戸田駅西口に屋根の設置を③バリアフリーマップの作成を④心のバリアフリーの小学校への啓発は⑤既存の補助金を有効に活用するために、飲食店などへの助成制度の検討を。

環境経済部長 ①維持管理の経費が少しでも削減できるよう努める②新たな視点を踏まえ検討する。

その他の質問

Q tocoバスの課題について市民の意見を反映する場を。
A 地域公共交通会議で活発な議論が行われるよう検討する。



▲乗降場前のみ屋根の設置が予定されている戸田駅西口

議員の「ごまき」
すべての世代にやさしいまちづくりを！

コロナから市民の命と暮らし・営業守る予算に



事業の精査、見直しを行った

日本共産党 戸田市議員 **本田 哲** 議員

議員 令和3年度予算は、新型コロナウイルス感染症の影響から13億円の市税減収を見込み、厳しい局面にあると述べているが、令和2年度補正予算で財政調整基金を始めとする各基金に約32億円を積み立てており、コロナ対策や不測の事態などに対応するため財源は十分にあると考える。コロナ禍での予算編成は、コロナから市民の命と暮らし・営業を守る予算にすることが重要であり、税収減などを理

由に、市民サービスや福祉施策などの後退や新たな負担を強いてはならないと考える。予算編成における市長の考え方を伺う。

市長 税収の大幅な減少に対応しつつ、新型コロナウイルス感染症への対応など、市民ニーズや行政需要に的確に対応するため、組織改正により予算編成手法の見直しなどに取り組むことで、これまでよりもさらに、最少の経費で最大の効果を生み出したい。

公費負担でPCR検査を

議員 コロナ感染拡大防止のため、医療機関、高齢者施設、障害者施設、教育機関、保育園、学童保育室などで働く方々を中心に、定期的なPCR検査を公費負担で実施すべきではないか。

市長 感染状況や緊急性、本来優先すべき行政検査への影響などを見極め、慎重に判断する。



▲PCR検査を実施している市民医療センター

円滑なワクチン接種計画とスケジュールは



4月下旬を想定し医師会と調整

公明党 **三浦 芳一** 議員

議員 円滑なワクチン接種の推進及び接種計画・スケジュールについて伺う。

市長 国が、高齢者への接種開始時期を4月下旬頃と想定しており、接種券などの発送準備や医師会との調整を進めている。

議員 ワクチンに関する相談体制の充実について伺う。

市長 国・県のコールセンターなどでワクチンの有効性や安全性など、丁寧かつ迅速に対応し市民の不安解消に努める。



▶円滑なワクチン接種が期待されます

デジタル化に対する対応は

議員 市役所のデジタル化で格差が拡大しないよう、情報弱者への対応について伺う。

市長 「デジタル支援員」制度を活用して取り組んでいく。

防災・減災対策は

議員 防災業務の専門家を育成すべきと考える。

市長 危機事態に迅速・的確に対応できる人材を育成し、組織体制の構築に努める。

SDGsの推進・達成を

議員 SDGs（持続可能な開発目標）の17の基本目標を各担当部署が明確にしているのか伺う。

市長 第5次総合振興計画では、SDGsの視点を取り入れ、施策ごとに17の目標との関連性を明らかにしている。「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、さまざまなネットワークホルダーと連携しながら、ワンチームとなって達成を目指す。

※ネットワークホルダー…自治体の活動による影響を受ける地域住民やNPO、企業などの利害関係者